



骨組みに巻いたカヤの周りにしめ飾りや書初め等を設える。一方、同時に籐竹による団子炙り用の棒作りも始められる。8時半頃。



事前に団子が配られる。作った 350 本の全てがこの行列の方々の手に収まった。もう少し多く？ 余っても？



どんど焼きの造作が完成。
青空に映えて彩が美しい。



自治会長により 11時に点火。
炎と灰，そして熱気が顔に痛い。
パーン！と青竹の撥ねる音も。



この熱気が風を呼んだのか？ このひと時が一番強かった。炎が
ヴォーッと音を立てたのも幾度か。



12時半ともなれば・・・，早く団子を食べたい！残り火と言えども顔が熱いので近づけない。我慢・ガマン。



団子を炙り終ると水で火勢を止め，穴に埋める。ここでも安全のため水を掛け，山盛りに土を盛って終了。13時過ぎでした。